

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (O2ウォシュレット一体形便器Z670 (TCF985) 用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため) 特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ プ 1) 1	(タ イ プ 2) 2	正 規 品	(タ イ プ 1) 1	(タ イ プ 2) 2
(タ イ プ 3) 3	(タ イ プ 4) 4	(タ イ プ 5) 5	(タ イ プ 3) 3	(タ イ プ 4) 4	(タ イ プ 5) 5

3. 連立トイレ対応方法

＜＜本体側の設定方法＞＞

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOメンテナンスへご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 1

本体操作部の **運転 入/切** を手順3まで押し続ける。

10秒後に本体の全表示ランプが2秒間点灯します。

ランプ表示部

＜下図は例です＞

運転	便座	脱臭	節電	運転	便座	脱臭	節電
●	●	●	●	●	○	○	○

緑色点灯
この間2秒

ランプが点滅したら最初からやり直してください

本体操作部

運転 入/切 ビデ 入/切 おしり 入/切

手順3まで押したまま

手順 2

運転 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、**すぐに ビデ 入/切** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

本体操作部

運転 入/切 ビデ 入/切 おしり 入/切

※途中で失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

手順 3

運転 入/切 を押したまま、**おしり 入/切** スイッチを押す。

おしり 入/切 を押す度に標準→特1→特2…
特5→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

●…緑点灯 ×…消灯

コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5
表示部						
運転	●	×	●	×	●	×
脱臭	●	●	×	×	●	●
便座	●	●	●	●	×	×

本体操作部

運転 入/切 ビデ 入/切 おしり 入/切

手順 4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転 入/切 から手を離れた時点で設定したコードになります。

手順 5

例 **リモコンコード特1**

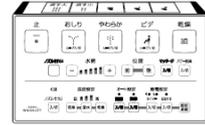
この商品は特1タイプのリモコンでご使用ください。

ウォシュレット本体の側面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

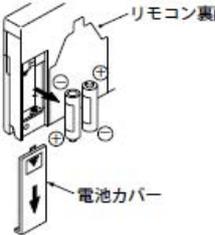
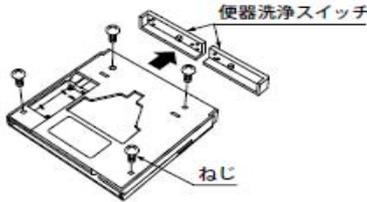
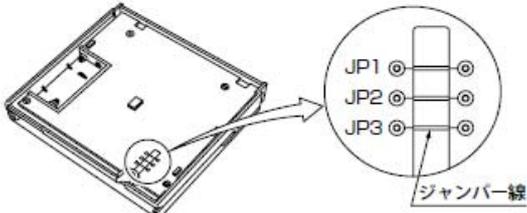
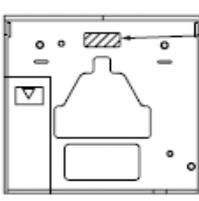


左図リモコンがセットされている 場合のリモコン設定方法

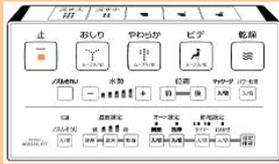


上図『補修品専用リモコン』の設定方法は、次ページをご参照ください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																												
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わない場合があります。)</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																												
2	 <p>便器洗浄スイッチをはずした後、リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																												
3	 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!! ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p>◎: つながったまま ×: 切断</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上的の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																							
JP1	◎	×	◎	×	◎	×																							
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎																							
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×																							
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンはリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																												
5	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																												

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)



『補修品専用リモコン』がセットされている場合のリモコン設定方法



上図のリモコンの設定方法は、前ページをご参照ください。

<<リモコン側の設定方法>>

リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																									
1	<p>乾電池のはずしかた</p> <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p><リモコン裏面></p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																								
	<p>水勢ランプがつかなくなるまで、「おしり」SWを何度か押す。</p>	<p>②「おしり」スイッチを押して、水勢ランプが消えていることを確認する。 (水勢ランプが確実に消えるまで「おしり」スイッチを押し続けずに作業を進めると、特殊コードが切り替わりません)</p>																																								
2		<p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																								
3	<p>ジャンパー線</p> <p>◎: つながったまま ×: 切断</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ジャンパ線</th> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td></td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	ジャンパ線	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP1		◎	×	◎	×	◎	×	JP2		◎	◎	×	×	◎	◎	JP3		◎	◎	◎	◎	×	×	JP4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	<p>ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>リモコン基板上的4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p> <p>*補修品専用リモコンではジャンパー線が4本ありますが、本体側で特コードを設定する場合は特5までしか利用できませんので特1～特5内で設定を行ってください。</p>
ジャンパ線	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																																			
JP1		◎	×	◎	×	◎	×																																			
JP2		◎	◎	×	×	◎	◎																																			
JP3		◎	◎	◎	◎	×	×																																			
JP4		◎	◎	◎	◎	◎	◎																																			
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。(乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。)</p>																																									
5	<p>例</p> <p>リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																								

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)